

# ひなの家押野通信第6号

## 懐かしいスタッフと面会、女性が笑顔 ひなの家押野と悠久の郷をスマホで結ぶ



ひなの家押野を利用し、3月から悠久の郷（野々市市郷、住宅型有料老人ホーム）に入居している

懐かしい声に耳を傾ける女性＝悠久の郷

女性に呼びかける女性＝ひなの家押野

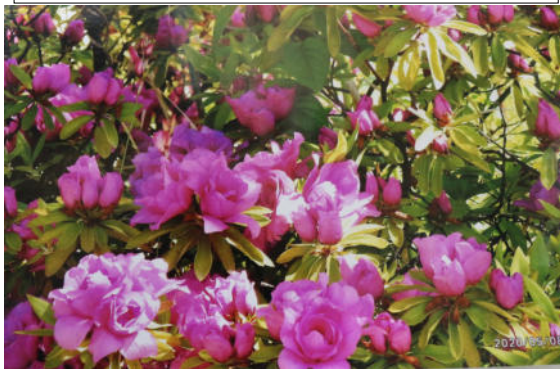
この日、両施設からスマホによるウェブ面会を実施。ひなの家押野のスタッフが「お久しぶりです。お元気でですか」と呼びかけると、ベッド上の女性は、「元気でですよ」と応じました。スタッフが「ひ

性は2018年からひなの家押野を利用。とても明るい人柄のため、利用者やスタッフに親しまれていました。体調の変化に合わせて、同じてまりグループの悠久の郷に3月から生活の場を移しています。

90代の女性が5月1日、ひなの家押野のスタッフとスマートフォンで「面会」しました。スタッフの懐かしい声に女性も懐かしさを感じ、笑顔でした。

四季を撮る 小野治郎写真館④

テーマ：自己主張するツツジ



5月上旬。押野西公園のツツジが咲きほころんでいた。緑の葉を押しつけて紅色の花弁がひととき美しく、「自己主張」している。この日は新型コロナウイルスの影響が人影もまばらだった。来年は安心して眺めたい。（おの・じろう カメラ歴40年余。野々市市在住。ひなの家押野利用者。81歳）

なの家押野のバラがきれいに咲いていますよ」と話しかけると、「もうそんな時期になったのですか」と感慨深げでした。スタッフたちは代わる代わるに声をかけると女性は懐かしそうにうなずいていました。【お断り】女性の写真は家族の承諾を得て掲載しました。なお、悠久の郷は、6月1日から名称を「ひなの家 彩いろどり」に変更しました。



ひなの家 押野

野々市市押野1-31  
電話076(287)5810

### スナップエンドウの収穫始まる



スナップエンドウを収穫する利用者

ひなの家押野の裏の畑でスナップエンドウの収穫が5月から始まりました。利用者やスタッフがハサミを手に大きく実ったスナップエンドウを摘み取りました。昨年11月にまいた種がすくすくと生長し、ふっくらとした緑色の実があちこちになっっています。4

6cmぐらいの大きな実を選んで摘み取っていきます。

利用者の朝、昼、晩の食事で利用されます。甘くてシャキシャキとした食感が好まれています。

「介護職を応援」丸八製茶から加賀棒茶贈られる

丸八製茶場（加賀市）から「コロナで戦う介護職を応援したい」プロジェクトの一環として加賀棒茶20個（1個、60g）が写真が贈られてきました。



アジサイ飾り取り付け梅雨時期を前に、フロアにアジサイの折り紙や切り絵、写真が飾り付けられました。利用者やスタッフの力作。



# ダンスとギターで楽しくひな祭り

## 母の日に感謝を込めて

母の日の5月10日、ひなの家押野で、「母の日の集い」があり、利用者とスタッフがダンスや歌で楽しいひとときを過ごしました。

息もぴったり。利用者も一緒に踊ったり、体を動かしながら歌ったりしていました。

次いで、スタッフの竹本智未さんが弾くギターの伴奏で、みんなで「故郷（ふるさと）や「花は咲く」を歌いました。

最後に、キーボードが得意なスタッフが作ったロールケーキ

が、最後に、キーボードが得意なスタッフが作ったロールケーキ



エビカニクスのダンス



ギターを奏でる竹本スタッフ



キトコーヒーを味わいました。

### 5月のミニニュース

○：八十八夜にちなんで1日、お茶摘みを模擬体験した。写真。スタッフが洗濯ばさみなどで茶摘みセットを自作。姉さんさんかぶりの利用者か懸命に「茶葉」を摘み取った。

## スタッフ紹介 「元気いっぱい」⑥

なかがわ ゆみ  
介護士 中川 由美さん



心優しい中川由美さん

悔いのない介護をした

大好きな祖母が認知症になった10代後半から約10年間、母と一緒に介護に従事、最期も看取った。入浴、トイレ、食事など懸命に世話をした。その経験か

ら「人のために役立つたい」と、縫製会社で働いていた20代後半、ヘルパー2級を取得、介護の仕事に就いた。母からは「あなたが思う以上に介護の仕事は大変な世界」と諭されたが、決意は固かった。小規模特養、有料老人ホーム、シヨートス

テイ、サービス付き高齢者住宅などで11年ほど経験を積み、昨年7月からひなの家押野で働いている。「人生の最期に立ち会うものとして悔いのない介護をしたい」と熱っぽい。得意な折り紙で利用者

と心を通わせる。中学2年の一人息子を2歳のころから、ずっと介護の職場に連れて行った。「私の働く姿を見て他人の気持ちを考えて」と願う。息子と余暇にバドミントンをするのが楽しみな心優しい母でもある。

○：5日、こいのぼりゲームを実施。写真。紙のこいのぼり（長さ約20cm）をバスタオルの先端に取り付けて2人ずつ足



先でタオルを引き寄せ、こいのぼりを取ったほうが勝ち。利用者はリハビリを兼ねてハッスル。



○：17日、お好み焼きパーティーを開いた。写真。料理の得意な利用者がホットプレートでお好み焼きを焼き、他の利用者にもふるまった。



◎編集後記  
疫病退散の願いがかなう伝説の妖怪、アマビエの塗り絵をひなの家押野の利用者の方やスタッフが作り、張り出しました。写真。アマビエ様、どうか、コロナが退散しますように!! (浦上)

